

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成19年10月4日(2007.10.4)

【公開番号】特開2005-150691(P2005-150691A)

【公開日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2005-022

【出願番号】特願2004-248471(P2004-248471)

【国際特許分類】

<i>H 01 S</i>	5/323	(2006.01)
<i>C 09 K</i>	11/77	(2006.01)
<i>C 09 K</i>	11/80	(2006.01)
<i>H 01 L</i>	33/00	(2006.01)
<i>H 01 S</i>	5/18	(2006.01)

【F I】

<i>H 01 S</i>	5/323	6 1 0
<i>C 09 K</i>	11/77	C P H
<i>C 09 K</i>	11/80	C P M
<i>C 09 K</i>	11/80	C P N
<i>H 01 L</i>	33/00	C
<i>H 01 S</i>	5/18	

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月22日(2007.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

*L* n 源化合物として  $Y_2O_3$  ; 1 . 4 4 モル、*M* 源化合物として  $-Al_2O_3$  ; 2 . 5 モル、*Ce* 源化合物として  $CeO_2$  ; 0 . 0 9 モル、*Tb* 源化合物として  $Tb_4O_7$  : 0 . 0 0 7 5 モル、並びに融剤として  $BaF_2$  ; 0 . 2 5 モルを用い、1400 で焼成したこと以外は実施例1と同様の方法にて、黄色発光蛍光体  $(Y_{0.96}Ce_{0.03}Tb_{0.01})_3Al_5O_{12}$  を作製した。得られた蛍光体につき、実施例1と同様に物体色と全光束を測定したところ、物体色は  $L^* = 102.7$  、  $a^* = -14.9$  、  $b^* = 58.8$  、全光束は 116 % であった。結果を表-1に示す。

(実施例6)

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0044】

*L* n 源化合物として  $Y_2O_3$  ; 1 . 4 4 モル、*M* 源化合物として  $-Al_2O_3$  ; 2 . 5 モル、*Ce* 源化合物として  $CeO_2$  ; 0 . 1 2 モル、並びに融剤として  $BaF_2$  ; 0 . 2 5 モルを用い、1400 で焼成したこと以外は実施例1と同様の方法にて、黄色発光蛍光体  $(Y_{0.96}Ce_{0.04})_3Al_5O_{12}$  を作製した。実施例1と同様の評価を行ったところ、物体色は  $L^* = 101.2$  、  $a^* = -14.7$  、  $b^* = 57.8$  、全光束は 110 % 、温度特性は 98 % であった。また、*t* 1 は 151 ns 、 *t* 2 / *t* 1 は 2 . 0 3 であった。結果を

表 - 1 に示す。  
( 実施例 7 )